

▶馬場さん(前列左)、岡さん(中央)、神代さん(前列右)といつもの練習メンバー



5月23日、佐賀県グラウンドゴルフ協会主催で、さわやかグラウンドゴルフ大会(兼紀の国わかやま国体予選会)が佐賀県総合運動場で行われ、<sup>くましろのぶ お</sup>多<sup>おかのぼる</sup>久市<sup>ば</sup>を代表し出場した、<sup>たけひで</sup>多<sup>お</sup>久市<sup>お</sup>Aチーム(神代信夫さん、岡登さん、馬場武英さん)がプレーオフの末、見事にB組で優勝するとともに、紀の国わかやま国体出場を決めました。

約440人(3人で1チーム)が参加したこの大会は、国体予選も兼ねておりA~H組の8組に分かれ予選を行い、各組優勝者がA・B2組(1組4チーム)に分かれてのプレーオフ(決勝)で順位を競いました。

この日は、3人とも調子がよく、プレーオフでは、チームで唯一ホールインワンが出ていなかった馬場さんが、最終ホールで決めるというおまけ付き。寄せ集めのチームでしたが、息の合ったところが随所に見られました。

「いかにリラックスできるかがポイントです。国体では入賞を目指します」と神代さん。9月19日・20日に和歌山県すさみ町で行われます。みなさん応援をよろしくお願いします!

▶ナイスショット!大会に向け、練習に取り組む様子



さわやかグラウンドゴルフ大会優勝!

いざ!紀の国わかやま国体へ

# まちの話題

まちの話題をお寄せください!!

情報課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX75-2110

▶「やさしいどこになる?」クイズに元氣よく答える子どもたち



5月24日(日)に多久市まちづくり交流センターあいぱれっとで、キッズ野菜ソムリエ育成プロジェクト(野菜ソムリエコミュニティ佐賀主催)が午前午後の2部構成で開催され、市内外から11人の児童が参加しました。

多久市で初の開催となったこの催しは、楽しく野菜の魅力を知り、子どもから大人へだけでなく、子どもから子どもへ伝えることができるようになることを目的に、少しずつ成長していくという新しい食育への試みの一環として行われました。

子どもたちは3色のトマトの食べくらべや「野菜はどこになる?」などのクイズを通して野菜のことを学んでいました。

キッズ野菜ソムリエ任命式では、講師の西岡弘子さんからエプロン、チーフ、任命書、名刺が手渡されると、子どもたちはそれぞれ好きな野菜や果物を伝え合いながら笑顔で名刺交換を行っていました。

みやき町から参加した子どもの保護者、<sup>にしやま</sup>西山<sup>たつお</sup>立夫さんは「これを機会に少しでも野菜を好きになってもらえたら」と話しました。

▶旬のトマトの見分け方を説明する西岡さん



野菜を好きになろう!

キッズ野菜ソムリエプロジェクト

5/31 Sun.

## 笑顔がいっぱい! 障害者スポーツ大会開催



旧北部小学校体育館で52回目となる障害者スポーツ大会(多久市、多久市身体障害者福祉協会主催、多久市障害者関係団体共催)が開催されました。

この大会は障害者が、スポーツを通じて、健康の増進と体力の維持・増強を図るとともに、相互の親睦と融和を図り、地域の中で積極的な社会参加を促進することを目的としています。

市内の障害者関係団体や福祉サービス事業所から、多くの参加があり、総勢約250人が、なごやかな雰囲気の中、すがすがしい汗を流しました。

5/31 Sun.

## “たくさん”のいちごをおなかいっぱい堪能しました!



毎年恒例のピアいちご狩り(スポーツピア主催)が、多久町石州分で行われました。

初夏を思わせる晴天のもと、約70人が参加し、甘いいちごの香りが漂うハウスの中で、真っ赤に実ったいちごを口いっぱいに頬張りながら収穫していました。

今年は、例年より生育が悪かったせいか、去年ほどの量はありませんでしたが、それでも多い人は4箱のいちごを収穫していました。

参加した人たちは「毎年楽しみにしている」、「採ったいちごでジャムを作るのが楽しみ。また参加したい」と話しました。